

学校番号
75

敷島小学校
全校児童数48名
(男子28名 女子20名)

目標を立て、進んで運動に取り組む児童の育成を目指して
「協応性」を高めるために

体力テストの現状と課題

本校では、小規模校の良さを生かし、他学年と関わり合いながら楽しさを味わい、自己の目標をもって運動能力を高めることを目指している。

本校の体力テストの結果は、学年別では1、2、4年生男子は実施した全て種目において市平均よりも優れている。1～3年生女子、3年生男子はソフトボール投げ以外ほどの種目も優れている。また、4、5年生女子、6年生男女は得意、不得意な種目が類似している。一方で5年生男子は全ての種目で市平均を下回る結果となった。

学年差、男女差、個人差が大きい傾向にあるため、仲間と楽しく運動できる場を意図的に設け、協応力を高めながら、進んで運動に取り組むことのできる児童を育てていきたいと考えた。

実施内容

(1) 教科体育での実践

本校は、体育の授業を2学年合同で行っている。跳び箱やマット運動、ボール運動などでは、学習用タブレットの録画機能を活用し、自分や仲間の動きを確認することで、手足や体全体の使い方をアドバイスし合ったり、チームプレーを修正したりして、協応性を高め、運動に意欲的に取り組むことができた。タグラグビーでは、作戦を仲間と考えながら攻撃や守備の動きを工夫することで「協応性」を高めることができた。



【タグラグビー ボールを回す中学年児童】

(2) 教科外体育での実践

12月初旬に、マラソン記録会を実施している。およそ2週間、朝の活動の時間に全校児童が低・中・高学年ごとに決められた距離を走るマラソン練習を行い、一人一人のタイムを測定し、記録会では自己ベスト更新を目標に走っている。記録会後は児童一人一人に「ベストタイム賞」を授与し、全員の努力を称えている。



【マラソン記録会 高学年児童】

1月から2月初旬にかけて、なわとび検定と大縄の8の字跳び練習を行っている。検定は15級から超名人まで24段階あり、朝の活動や休み時間に練習に取り組んでいる。「なわとび検定掲示板」で全校児童の級が確認できる。長縄の8の字跳びは低、中、高の学年に分かれて行っている。最終日には長縄の記録会と超名人が全校児童の前で自分の得意技を発表する場を設けている。

成果と来年度に向けて

児童同士が関わり合い、高め合いながら、個々の目標に向かって進んで運動に取り組めた。運動が苦手な子も、仲間と一緒に活動することで、粘り強く運動に取り組み成長していくことができています。今後も、技能面や運動能力に差があっても、みんなと一緒に運動することで楽しさを味わわせ、より成長できる支援の方法を模索していきたい。